

006

>> Tetsu
Nishiyama

上ノ島のG3のキーボードはスクルトンのMACWAYを使用。中ノ「IBM」のPALMTOPはデザインもいいし、E-mailも送れるし、アドレス帳やスケジュールの変更もパソコンにつなげばすぐにデータの更新してくれるし、すっごく気に入ってる」下ノDVD鑑賞も余裕のG4のディスプレイの画面



TETSU

Wtaps コンセプトチュアルディレクター

コクピットなオフィスもこれで見納め!?

TETSU氏のブースの扉を開けると、Apple Cinema Displayの対角22インチの超“大”画面が目飛び込んでくる。A4判2枚くらい同時表示というデザイナー憧れのサイズだ。「でも今のところは音楽の編集ばかりです」とTETSU氏。原宿界隈ではMD時代は終焉し、音楽はMP-3のデータで交換、が常識になっているからだそうだ。

こんな基地っばいTETSU氏のオフィスも、4月には引っ越しが決まっている。「本も隠してパーティションもとばらって、なにもない感じの内装にしようと思っています。スタッフ間のアイコンタクト、大事っすから」



←「Mac」専用のデスクは奥さんによるデザインだ。代官山「アッサン・ブラージュ」にて販売している3万5000円

★大量のレコードを整理するために、酒井さんが自ら製作したラック（非売品）。ラウンドしたデザインが部屋にマッチ



←「Mac」専用のデスクは奥さんによるデザインだ。代官山「アッサン・ブラージュ」にて販売している3万5000円



007

>> Toshihiko
Sakai

酒井俊彦

IDデザイナー

特別なものではない、
というPCスタイル。

新築の無機質な感じが嫌で、古くても広い部屋を探したという平野さん。「ここは30年以上前の建物だから、雨漏りもしますけど(笑)。オフィスとメリハリつけるために、自宅にはデジタルものは置かないようにしています。iMacもほとんど電話台の感覚。妻がデザインしたデスクに乗せて置いてるんですけど、立ったままメールを見たり、せいぜい膝をついてインターネットに接続するくらい。周辺機器も置いてません」

生活の中でPCが特別なものではなくて、電話機のように馴染んだものに、というのが酒井さんの新しい提案なのだ。

●さかいとしひこ 家具デザイナー。代官山「アッサン・ブラージュ」にて商品を展開している。生活の中で、どうやってパソコンと関係を作っていくかが目下のテーマということ

